

## 重永康子先生への献辞

総合管理学部長 松尾 隆

重永康子先生は、2013年3月31日をもって定年退職されることとなります。2010年4月の着任後、3年という短い期間ではありましたが、先生には特に大学院での教育において大いに貢献していただきました。

重永先生は、1969年に福岡赤十字高等看護学院（現日本赤十字九州国際看護大学）卒業後、宮崎県赤十字血液センターや潤和会記念病院で総看護師長等を歴任されています。1993年には仏教大学の通信教育学部を、さらに2007年には宮崎大学医学部医学系研究科修士課程を修了されています。このように、先生は、長年の経験や研究活動を通じて培われた実践的知識を、医療の現場で活かされてこられました。また、病院で要職を勤められる傍らで、先生は認定看護管理者等の医療に係わる多く資格を取得され、人材の育成に積極的に取り組んでこられていました。さらには、日本赤十字社看護師同方会評議員のほか、宮崎県看護協会の発展に寄与されるなど、社会貢献の分野でも目を見張る活躍をなされ、その功績が称えられて、先生は2000年には医療功労者宮崎県知事表彰を受賞されています。

重永先生の専門分野は看護管理です。先生は、この分野に関する数多くの学術論文をされ、あまたの学会報告をなされています。また日本看護管理学会、日本看護管理者学会、日本看護倫理学会、日本看護研究学会などで評議員を務めるなど、重責を担われてきています。このように第一線場で活躍されておられた先生に、縁あって、2010年に看護学担当の専任教員として、当学部へ赴任して頂けることになりました。

重永先生には、学部においては、講義科目として「家庭看護論」と「新熊本学（地域社会と市民ネットワーク）」を担当していただき、専門演習では熱心にまた親身になって学生のご指導をいただきました。また、大学院では、看護人的資源活用論特殊講義、看護組織論特殊講義、特別演習を担当していただきました。先生のトップマネージャーとしての長年にわたる看護管理に関する実践的経験や、その間に修得してきた看護管理に関する知識・技術、病院等での看護法指導など、経験に裏打ちされた先生の教育上の能力と職務上の実績は、大学院での教育においていかに発揮されました。先生にご指導を仰いだ大学院生は、おもに社会人入学された、しかもそれぞれの職場で中核的な役割を担われている看護師の皆さんです。今では先生のもとを巣立った多くの看護師の方々が第一線で活躍していますが、先生が真摯にしかも精力的に職業人としての看護師の育成に取り組まれてこられたことの賜であることは改め述べるまでもありません。先生のご貢献に対して、学部を代表して、有り難うございました、と心より感謝の気持ちを添えさせていただきます。

3年という月日はあまりにも短すぎて、残念でなりません。重永先生には、これまでも増して地域の医療や福祉の発展において様々な方面で活躍していただけることを、そして何よりもご健勝にお暮らしになられることを、希望してやみません。